

第3日目 10/15日

■ 全体会 9:00 - 12:00

《受付開始》8:30 《会場》小樽市議事堂
(小樽市花園2丁目12-1小樽市役所本館3階)

● 記念シンポジウム「市長サミット 町並み保存とまちづくり」

重要伝統的建造物群保存地区に選定され、活用する都市、模索する都市、目指す都市など、本ゼミでの成果を踏まえ、制度の活用と町並み保存、まちづくりはどうあるべきかを考えるシンポジウムとします。

(コーディネーター)

西村 幸夫氏

國學院大学
観光まちづくり学部長/
全国町並み保存連盟常任理事

(アドバイザー)

駒木 定正氏

小樽市文化財審議会
会長

(パネリスト)

小野植正久 内子町長 (愛媛県)

大泉 潤 函館市長

迫 俊哉 小樽市長



小樽市議事堂 (小樽市指定歴史的建造物)

申込はこちら



■ オプションツアー 12:30 - 18:00 頃《全体会会場前からバスで出発します。》

本ツアーは(株)日本旅行北海道 小樽支店が催行します。
料金及び最少催行人数は右記の申込サイトにてご確認ください。

1 酒造・ワインツアー (仁木町・余市町)《定員》30名《料金》6,500円(昼食弁当付・税込)

後志地域の冷涼な気候を背景に発展を続ける、ウイスキー・日本酒醸造、ワイナリー、地ビール工場を見学し、新旧が一体となった本地域の酒造文化を学びます。お酒好きでなくても楽しめるコースです。

【コースの概要】小樽 → (仁木町)「NIKI Hills Winery」 → (余市町)「ニッカウヰスキー余市蒸溜所」、ワイナリー(車窓) → (小樽市)「田中酒造 亀甲蔵」 → 地ビール「小樽倉庫No.1」(車窓) → 小樽駅解散



ニッカウヰスキー 余市蒸溜所



田中酒造 亀甲蔵

2 ニシンの遺産めぐり(余市町・小樽市祝津)《定員》30名《料金》6,500円(昼食弁当付・税込)

江戸時代末期からニシンの漁場として栄えた小樽市・余市町の、日本遺産「北前船」構成文化財を含む漁場建築の見学と、ニシンにまつわる歴史や文化を体感するコースです。

【コースの概要】小樽 → (余市町)「旧余市福原漁場」 → 旧下ヨイチ運上屋 → ニシンの魅力ミニレクチャー(マルコウ福原伸幸商店) → (小樽市)国登録有形文化財「小樽貴賓館(旧青山別邸)」 → 茨木家中出張番屋(車窓) → 小樽駅解散



旧余市福原漁場 (写真:余市町教育委員会所蔵)



小樽貴賓館(旧青山別邸)



第46回 全国町並みゼミ 小樽大会

第46回全国町並みゼミ小樽大会

イラスト:ホリイヒトシ

小樽運河100年の歴史から考える
～今、ふるさとの魅力を未来へ～

2023.10/13金・14土・15日

会場 | 小樽市民センター(マリンホール)ほか

参加費 | 《一般》5,000円(全日程)
《全国町並み保存連盟会員》4,000円(全日程)
《小樽市民・学生》1,000円(13日・14日)

※交流会参加料等は別途となります。

【共催】第46回全国町並みゼミ小樽大会実行委員会・小樽市・NPO法人全国町並み保存連盟



1 大会参加申込み (実行委員会まで)
インターネットまたはFAX

インターネットによる申込み
第46回全国町並みゼミ小樽大会ホームページのお申込みフォームからお申込みください。



FAXによる申込み
第46回全国町並みゼミ小樽大会事務局まで電話、またはFAXまでご連絡ください。申込み用紙をFAXまたは郵送にてお送りします。ホームページからもダウンロードできます。

【申込み開始】2023年7月中旬
【申込み期限】2023年9月12日(火)

2 宿泊申込み (株)日本旅行北海道 小樽支店まで
【申込み期限】2023年8月15日(火)



1 大会参加申込み及び振込先は実行委員会まで、2 宿泊申込み及び振込先は(株)日本旅行北海道 小樽支店までとなりますのでご注意ください。

問合せ先

第46回全国町並みゼミ小樽大会事務局 (株)オー・プラン (内)
MAIL: info@machinamiotaru.com
TEL: 0134-29-1003 (平日 9:00~18:00)
FAX: 0134-29-0594

第46回 全国町並みゼミ小樽大会



今年是小樽運河が竣工して100年。商工港湾都市として栄華を誇るも、産業構造の変化に対応できず斜陽都市となっていた戦後の小樽。そんな中、都市開発計画をめぐり、運河を保存か埋め立てかの街を二分する10年にわたる論争が勃発しました。大論争の末得られたのは、市民・行政・経済界が「まちづくり」の関心を高め、歴史的な町並みや文化財が観光資源として重要であると共有できたことです。

保存運動終結から約40年が経過した2023年。1980年、2001年に続く今回の開催で、みなさまの目に映る小樽の評価はいかがでしょうか。「良質な町並み・景観の保存」と「観光」は両立しているのでしょうか。厳しく愛のある眼差しで評価していただき、歴史文化都市小樽の明日へ繋げる3日間になりたいと思います。小樽でお待ちしております。

大会ホームページ ボランティア応募 大会参加申込 オプションツアー・宿泊の申込み (株)日本旅行北海道 小樽支店

同時開催 レールカーニバル in 小樽 10/13金・14土・15日 開催場所▶旧国鉄手宮線 主催『レールカーニバルinおたる』実行委員会

同時開催 OTARU CANAL 100 運河誕生 100年を祝う さまざまな催しをロングラン開催!! 9/16 SAT - 12/27 WED 主催 小樽運河100年プロジェクト実行委員会

7月22日~8月27日 実施済 全国町並みゼミ小樽大会 第3分科会において 子どもたちの発表があります 主催 海と日本プロジェクトinガッツヤンコ北海道実行委員会

小樽市民・学生
参加可

第1日目

10/13金

会場 小樽市民センター
(マリンホール)
(小樽市色内2丁目13-5)



《受付開始》12:00

13:00 開会式

13:30 記念講演

「台湾の町並み保存とまちづくり・ 全国町並みゼミと峯山富美」

丘 如華氏 (チュー・ルーファア) (台湾歴史資源経理学会秘書長)
〔講師プロフィール〕 廣東省生まれ。オーストリア・ウィーンで音楽を学び、1980年代から史跡保存と活用に取り組んできた。1986年に「楽山文教基金会」を設立し、自ら執行長に就任。1987年に戒厳令が解除されると、同基金会は迪化街(台北市大同区)の史跡保存運動をスタート。2004年に「台湾歴史資源経理学会」を設立。歴史的資産の保存を通して、台湾における日本の歴史・文化に対する理解の促進に貢献、日本の地方創生に関わる数多くの台日交流において重要な役目を果たしてきた。令和2年度秋の外国人叙勲で旭日単光章を受賞。

14:20 小樽報告I・講演

「小樽運河論争の対立構造 —その遺産と新たな動き—

堀川 三郎氏 (法政大学社会学部 教授)

要旨

日本における歴史的景観保存運動のさきがけとなった小樽運河。「日々書き下ろされる、まちづくりの教科書」とまで評された小樽運河保存運動は、なぜ負けたのか。小樽市行政はなぜ、頑なに道路建設にこだわったのか。約40年間にわたり当事者たちの語りを丹念に追い、行政のこだわりの理由、住民が運河と運動に懸けた想いを分析した『町並み保存運動の論理と帰結』(東京大学出版会)の著者が、保存運動と市当局の対立構造を分析します。それは小樽の「現在」を理解するための有効な補助線になるに違いありません。

15:00 小樽報告II・パネルディスカッション

「歴史に学び、 これからの小樽のまちづくりを考える」

かつてまちを二分した「小樽運河保存運動」は、現在の小樽市のまちづくりに大きな影響を与えました。約40年の時が経ち、埋め立て前の小樽運河の姿もこの論争の過去も知らない若者が増えてきています。保存運動の歴史から何を学び、これからのまちづくりにどう活かしていくのか。世代を超え未来志向で小樽のまちづくりを考える場とします。

●コーディネーター:高野 宏康氏 (小樽商科大学 客員研究員)

15:55 各地からの報告

16:45 地域ブロック別会議

交流会 18:30 -

《会場》ニュー三幸 小樽本店
(小樽市稲穂1丁目3-6)
《参加費》6,000円(税込)



小樽市民・学生
参加可

第2日目

10/14土

小樽運河早朝清掃活動

6:30 ~ 1時間程度
《募集定員》30名程度
《集合場所》小樽運河浅草橋街園
※申込み多数の場合は先着順となります。



歴史文化まち歩き

10:00 - 11:30

※第2分科会と第4分科会は同時刻に分科会まち歩きがあります。
※申込状況により、ご希望のコースに参加できない場合があります。



《定員》各60名 《受付開始》9:00

《受付場所》小樽市観光物産プラザ(運河プラザ)
(小樽市色内2丁目1-20)

※各コースとも、市内小学生と高校生の案内人が一部のガイドを担当します。あたたかく見守って頂けると幸いです。

子どもガイド
募集中!!



Aコース

日本の近代化を牽引した小樽を 学ぶコース

観光の中心スポットから運河中央、運河散策路を通過、幅員がほぼ創設時のままの北運河地区を通り、国指定重要文化財「旧日本郵船(株)小樽支店」や、北海道鉄道発祥の旧手宮線を散策するコースです。



旧北運河製糖(株)小樽工場第3倉庫



旧日本郵船(株)小樽支店

Bコース

色内銀行街と 小樽運河の今を知るコース

観光の中心スポットから、日本銀行旧小樽支店などの銀行建築物が建ち並ぶ町並みを巡り、観光で賑わう堺町通り商店街の商店建築や石倉などが再活用されている町並みを巡るコースです。



日本銀行旧小樽支店金融資料館



小樽運河浅草橋街園



分科会 - 17:00

《定員》各50名 ※申込状況により、ご希望の分科会に登録できない場合もありますのでご了承ください。
※集合時間が分科会ごとにより異なります。

第1分科会



旧三井銀行小樽支店

《分科会まち歩き》13:00から1時間程度
集合場所/小樽芸術村
(旧三井銀行小樽支店)
会場の旧三井銀行小樽支店から、旧北海道拓殖銀行小樽支店、日本銀行旧小樽支店、旧北海道銀行本店などの銀行建築の建ち並ぶ色内界隈の経済を支えた文化遺産を巡ります。

分科会開始時間/14:00頃

地域固有の町並みを活かしたまちづくりと法制度

近代建築などで形成される地域固有の町並みの保全活用について、他都市の事例などを参考に、法的な視点でまちづくりを考えます。

●コーディネーター:岡崎 篤行氏
(新潟大学工学部工学科 教授/連盟理事)

《会場》小樽芸術村(旧三井銀行小樽支店 ※国指定重要文化財)
(小樽市色内1丁目3-1)

第2分科会



旧三菱銀行小樽支店

《分科会まち歩き》10:00から1時間半程度
集合場所/メルヘン交差点
(小樽オルゴール堂前)

商店、商家、石倉などが再利用され賑わっている堺町通り商店街から、NPOにより再利用されている旧寿原邸を見学後、分科会会場まで巡ります。

分科会開始時間/13:00

※昼食は各自でお済ませください。

まちづくりと担い手

港、問屋街、観光エリアと姿を変えながら地域発展してきた堺町通り商店街で、新たな伝建地区の可能性を発見し、多様な関係者の合意形成に向け、若い担い手が主体となったまちづくりを考えます。

●コーディネーター:西山 徳明氏
(北海道大学観光学高等研究センター 教授/連盟理事)

《会場》小樽運河ターミナル 4階ホール(旧三菱銀行小樽支店)
(小樽市色内1丁目1-12) ※4階までは階段での昇降となります。

第3分科会



小樽運河

《分科会まち歩き》13:00から1時間程度
集合場所/小樽運河浅草橋街園

観光客で賑わう小樽運河の散策路、第3埠頭、北運河など、小樽の代表的な水辺空間を歩き、水辺と人の関わりや空間のあり方を肌で感じていただきます。

分科会開始時間/14:00頃

「ひょうご・おたる運河調査隊」の子どもたちの発表(10分程度) 水辺との関わりを再考 ~運河周辺の水辺環境づくり~

市民にとって癒しの空間となるはずの水辺(運河周辺)が、近寄りづらい心理的距離間を感じる場所となっているのはなぜなのか。魅力的で訪れたいような水辺環境づくりの可能性を探っていきます。

●コーディネーター:海野 伸氏
(NPO法人盛岡まち並み塾 理事長/連盟理事)

《会場》北海製糖(株)小樽工場事務所棟 (小樽市色内3丁目1-1)

第4分科会



旧小樽無尽(株)本店

《分科会まち歩き》10:00から1時間半程度
集合場所/花園遊人庵入口前
(旧小樽無尽(株)本店)
旧小樽無尽(株)本店から終着小樽住ノ江火の見櫓まで、身近にある地域遺産のあり方を学ぶコースです。11:30頃に出発地に戻ります。

※昼食は各自でお済ませください。花園遊人庵は1階がレストランになっております。

分科会開始時間/13:00

持続可能な地域遺産まちづくり

小樽市内には存続が危ぶまれる未指定文化財が多数残っており、それらの保全が課題となっています。住民が自ら地域遺産を守り、育て、マネジメントしていく、持続可能な地域遺産まちづくりのあり方を考えます。

●コーディネーター:池ノ上 真一氏
(北海道商科大学商学部観光産業学科 教授)

《会場》花園遊人庵 3階ホール(旧小樽無尽(株)本店)
(小樽市花園4丁目1-1)

第5分科会



旧小樽倉庫

《分科会まち歩き》10:00から1時間半程度
集合場所/小樽市観光物産プラザ
(運河プラザ)(旧小樽倉庫)
「歴史文化まち歩き」Aコースへお申し込みください。
※定員に達した場合は分科会スタッフが同じコースをご案内します。

※昼食は各自でお済ませください。

分科会開始時間/13:00

アートの視点から見た 歴史的町並みの潜在的価値

地域で暮らしていると歴史的町並みは見慣れた光景となり、その魅力は見えにくくなってしまいます。アートの視点でまちの隠れた魅力を発見し、まちづくりに活かしていくことを考えます。

●コーディネーター:濱谷 雅弘氏(元北海道科学大学 教授)

《会場》小樽市観光物産プラザ(運河プラザ)(旧小樽倉庫)
(小樽市色内2丁目1-20)

交流懇親会 18:00頃~

市内10カ所の飲食店が特別メニューをご用意して、みなさまのお越しをお待ちしております。

- ①小樽・蕎麦屋・藪半 5,500円(飲み放題付)
- ②(和食)花園 遊人庵 3,500円(飲み物代別途)
※1ドリンク必須(ソフトドリンク250円~アルコールドリンク600円)
- ③寿司和食しかま 5,500円(飲み放題付)
- ④海鮮丼屋ポセイ井 堺町総本店 3,500円(1ドリンク付き)
- ⑤ワイン&カフェレストラン 小樽バイン 5,500円(飲み放題付)
- ⑥小樽ビール 小樽倉庫No.1 4,500円(飲み放題付)
- ⑦(洋食)小樽ISO 6,000円(飲み放題付)
- ⑧(洋食)マンジャーレTAKINAMI 5,000円(飲み放題付)
- ⑨(洋食)石と鉄 -stone and iron- 4,000円(飲み物代別途)
※1ドリンク必須(ソフトドリンク550円~アルコールドリンク900円)
- ⑩小樽中国料理 レストラン好(ハオ) 4,500円(飲み放題付)

※料金は全て税込です。 ※別紙店舗情報をご参照ください。
※同日にロータリークラブの全道大会があり、食事場所の確保が難しくなる見込みのため、お申し込みをお勧めします。